

授業計画書（シラバス）

教科名	ガラス材料学	曜日 時間		担当者名	吉野 徹
年間 (3回) 授業日	前期指導案			後期指導案	
	4月			10月	
	5月			11月	
	6月			12月	
	7月	22 23		1月	
	8月	29		2月	
方授 法業	(講義) ・ 実技)			(講義 ・ 実技)	
授 業 内 容	①非晶質材料としてのガラスの基本や他の材料にない独自の特性について学ぶ。 ②ガラスの製造方法について学ぶ。 ③ガラスの加工方法について学ぶ。 ④ガラスに発生しやすいトラブルやその対策について学ぶ。 ⑤実用化されているガラスの特性・特色やガラスに関する環境・安全問題を紹介し、授業全体のまとめとする。				
到達 目標	ガラス材料の特性への理解を深め、工芸ガラスに係わる技術の習得に役立てる。				
成績 基準 評価	出席状況。講義内容に沿った課題を複数作成し、レポート形式で解答させる。提出されたレポートから、講義内容の理解度とレポート課題へ取り組む意欲を判定する。				
留意 事項	不適切な作業行為を行わないように、最低限のガラスの基本事項を理解する。				